「リハビリテーション部門におけるヒヤリハット報告目標設定が報告行動に及ぼす影響」について

１．研究の対象

2026 年 4 月から 2027 年 3 月に当院のリハビリテーション技術科スタッフにてヒヤリハット報告をされた事例・患者さん

２．研究目的・方法

当院では、患者さんが安心して治療やリハビリテーションを受けられるよう、事故につながりそうになった出来事（ヒヤリハット）や、実際に発生した出来事（インシデント）を職員が報告し、原因や再発防止策を検討しています。

リハビリテーションでは、歩行や移乗の練習、医療機器の使用など、様々な場面で安全への配慮が必要です。しかし、当科では報告するスタッフや内容が一部に偏っている可能性があり小さな危険が十分に共有されていない可能性があります。

そこで、職員が気付いた危険を報告しやすくすることを目的として、3ヶ月間経験年数に応じた報告件数の目標を設けます。取り組みの前後で報告の状況と職員へのアンケート結果、ヒヤリ・ハット報告の内容等を比較し、報告しやすさや安全意識の変化を調べます。

件数を増やすこと自体が目的ではなく、得られた情報を事故予防に役立てることを目指します。

本研究では、電子カルテ内の報告された情報を収集しその内容を検証します。

研究期間は、病院長許可日から 2028 年 3 月 31 日までです。

３．研究に用いる試料・情報の種類

スタッフのアンケート結果、インシデント・ヒヤリハット報告の内容・報告数等の把握、事例分類の変化等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3　Tel：0538-38-5000
研究責任者：磐田市立総合病院　リハビリテーション技術科　鈴木亮馬